

手塚治虫記念館管理運営事業、大阪・関西万博に向けた集客戦略

産業文化部 手塚治虫記念館

手塚作品を代表とするマンガやアニメーションは世界に誇る日本の文化であり、手塚治虫記念館が本市にあることについて、訪日外国人をはじめ、万博に来られる多くの方々に周知していくことがまず必要であると考えています。

現在、市国際観光協会と連携し、関西国際空港、京都駅などのツーリストインフォメーションで本市の観光 PR とともに、鉄腕アトムで表紙を飾る手塚治虫記念館の広報用パンフレットを設置するほか、記念館紹介映像の放映やカウンターでの施設案内による PR に取り組んでいます。

さらに、観光庁の補助金を活用し、インバウンド誘客に向けた観光コンテンツの造成を行うなど、市国際観光協会のネットワークやノウハウを活用しながら、集客に向けて取組を進めていきます。

また、兵庫県の大阪・関西万博に向けた取組である、ひょうごフィールドパビリオン（SDGs 体験型地域プログラム）として、「夢をさがしに、宝塚 ～手塚治虫のメッセージ～」の認定を受けています。手塚治虫記念館では、手塚治虫が生涯を通して提唱していた「生命の尊厳」「自然への愛」をテーマに展示を続けており、現在のSDGsにも通じる展示を行うとともに、手塚治虫氏が住んでいたこの宝塚のまちを体験してもらえるプログラムを関係団体と連携して、実施していきたいと考えています。

引き続き、国や県等の動向を踏まえながら、本市に世界にひとつだけの手塚治虫記念館があることを発信し、ひとりでも多くの方に宝塚へお越しいただき、滞在していただけるよう、市国際観光協会等とともに取り組んでいきます。